

研究実施のお知らせ

研究課題名:急性期病棟におけるがん終末期患者の治療と退院支援を振り返って

研究期間: 令和6年6月30日～令和6年11月30日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

令和5年9月～令和6年1月に当院外科病棟に入院され、胃空腸バイパス術を受けられた方

【研究の目的と意義】

令和5年9月～令和6年1月に当院外科病棟に入院され、胃空腸バイパス術を受けられた患者さんとのかわりを振り返り、急性期病棟において治療と退院支援がどのように進められたか、必要な看護師の役割について考察し、その内容を報告致します。

【研究の方法】

診療録を用い、後方視的に、患者さんの思いを軸として、治療と退院支援がどう進められたか整理し、必要な支援や看護師の役割について考察します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(既往歴、診断名、看護記録、医師記録、医療相談記録等)を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【利益相反の状況】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います。

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用して頂きたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えのかたは、以下の【問合せ先】へ遠慮なくご連絡ください。また、この研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 5階西病棟
代表 022-308-7111 (内線)3451
研究責任者 看護師長 木幡真紀子
研究担当者 黒津菜絵